

令和3年度 学校関係者評価会議報告書

1. 学校関係者評価の実施について

本校では学校運営について総合的に点検・評価し、次期の学校運営の改善に活かすことを目的とした「学校運営評価」を実施しています。

また、関係施設・団体、地域住民、同窓生から成る「学校関係者評価委員会」を組織し、「学校運営評価」結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する方々の理解促進や連携協力体制をより強固にすることを目的とした会議を実施しております。

2. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

五十嵐 敏行 氏	みずき野東自治会（委員長）
上野 寛 氏	一般社団法人 新潟鍼灸手技療法協会
鈴木 晃 氏	医療法人 水明会 佐潟公園病院
中原 穰 氏	新潟看護医療専門学校 同窓会つばさ会

事務局

鈴木 光江	新潟看護医療専門学校 副校長
玉川 史記	新潟看護医療専門学校 事務局長

3. 評価対象期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

4. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施については、学校関係者評価委員の皆様には「学校運営評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は本報告書として取りまとめ、今後の学校運営の改善に活かしていきます。

5. 評価基準毎の学校関係者評価

■基準1 学校経営

【評価・改善点】

・中長期、単年度目標等について周知方法を再考する必要がある。目標設定を明らかにしつつ、教職員で問題意識の共有ができることが望ましい。

■基準2 教育課程・教育活動

【評価・改善点】

・多様化する学生、社会状況に対応するため、現行のカリキュラムを見直す必要がある。
・現場で即戦力として働くことができるよう、卒後教育に力をいれていくことが求められる。

■基準3 入学・卒業対策

【評価・改善点】

・国家試験の合格率については令和3年度においても高水準を維持している。
・学生が休学や中退に至るケースを教職員で共有し、勉強会を実施することが望ましい。

■基準4 学生生活への支援

【評価・改善点】

・経済的に困窮している学生が就学を継続できるよう、修学支援制度を充実させる必要がある。

■基準5 管理運営・財政

【評価・改善点】

・災害時における備蓄確保のため、自販機を災害対応のものに変更。

■基準6 施設設備

【評価・改善点】

・創立20年を迎えるにあたり、施設設備の経年劣化が顕著になっている。引き続き教育活動に支障を来すことのないよう整備を進める。

■基準7 教職員の育成

【評価・改善点】

・情報共有を適切に行い、各自が研修において学んだ知識をフィードバックする場を設けることが必要。

■基準8 広報

【評価・改善点】

・東洋医療学科の学生募集を行うにあたり、本校独自の特色を再考しHPやSNSだけでなくイベントにおいて周知することが求められる。

■基準9 地域との連携

【評価・改善点】

・感染症対策との兼ね合いや人員の確保が困難であるため、実施方法を検討し、教職員だけでなく学生に対しても協力を仰ぐ必要がある。

・一部の学生においては、地域の施設を訪問しボランティア活動を行っており、引き続き学びの場を提供できるよう地域との連携を強化する。

以上